

スタンド・バイ・ミー

Stand by Me



スタンド・バイ・ミー

ロブ・ライナー監督作品

コロムビア映画提供 アクトIIIプロダクション ロブ・ライナーフィルム "STAND BY ME"
主演:ウィル・ウィートン リバー・フェニックス コリー・フェルドマン ジェリー・オコネル キーファー・サザーランド
音楽:ジャック・ニッツェ 撮影:トーマス・デル・ルース 脚本:レイノルド・ギデオン&ブルース・A・エバンス 原作:"ザ・ボディ"スティーブン・キング(新潮文庫刊)
製作:ブルース・A・エバンス レイノルド・ギデオン アンドリュウ・シャインマン 監督:ロブ・ライナー
オリジナル・サウンドトラック/ワーナー・バイオニア ©1986 THE BODY INC. ALL RIGHT RESERVED 1986 COLUMBIA PICTURES INC. ALL RIGHT RESEAVED

爽やかな驚き。

(アメリカ) ロサンゼルス・テイリー・ニュース紙 - カーク・ハニカット氏

不思議な輝きに満ちた、うれしい出会い。

(英国) ガーディアン紙 - デリク・マルコム氏

最高の作品のひとつ、素晴らしく大胆で
魅力あふれる映画。

(アメリカ) CBS-テレビ - テニス・カンニガム氏

子供の頃を思い出させてくれる、
心を掴むストーリー。感動した。

(ドイツ) ビルト紙 - ハロルド・ストフェルス氏

映画の新しい時代を告げる作品。

(アメリカ) ニューヨークタイムズ紙 - スティーブン・フェイバー氏

清潔さと繊細さが
心にしみ通って来る秀作。

(日本) スクリーン誌 - 堀 夏彦氏

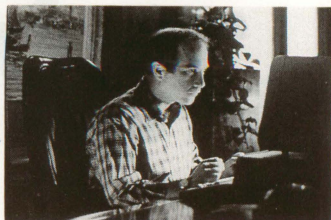


スタンド・バイ・ミー

Stand by Me

A new film by Rob Reiner.

COLUMBIA PICTURES PRESENTS AN ACT III PRODUCTION
A ROB REINER FILM "STAND BY ME" WITH WIL WHEATON RIVER PHOENIX
COREY FERRELL JESSY O'CONNELL KIDDER SUTHERLAND
JACK NITZSCHE AND THOMAS DEL RUTH
SCREENPLAY BY RAYNOLD GIDEON & BRUCE A. EVANS
DIRECTED BY STEPHEN KING
PRODUCED BY BRUCE A. EVANS RAYNOLD GIDEON ANDREW SCHEINMAN
EDITED BY ROB REINER



「猛ヒット!」「トップガン」
「エイリアン2」……強力大作
群に互して、全米では10週以上
も連続トップ10内を快走!

昨86年、この作品がこれほどまでに猛ヒットするなんて誰が予想しただろうか。米バラエティ紙では9/3付から3週連続第1位、10週を越えて連続トップ10内入り。87年に入っても、L.AやN.Yではなお大ロングラン中。アメリカ同様、南米や欧州各国子供から老人まで、世代や性別を越えて観客が上映劇場に押しかける大入りを記録した。

「1959年。僕たちは12才。4人だけの夏。
友情、旅、別離、希望……」
遠い日の記憶がいま、鮮やかに蘇える感動篇。

オレゴン州キャッスルロックは、人口1200余りの小さな町。ゴードイ、クリス、テディ、そしてバーンはここで生まれ育ったわんぱく仲間。1959年夏。共に12才だった4人は、各々の人生にとってかけがえない体験をすることになる。発端はバーンが仕入れてきた情報だ。森の奥で行方不明になった少年がいるというのだ。もし、その少年を見つけ出せば、一躍町の英雄になれる。

少年ならではの好奇心と冒険心に胸ふくらませ、森の中深く旅立った4人。わずか2日間ながら、その旅はそれぞれ生涯忘れられない思い出となった……。

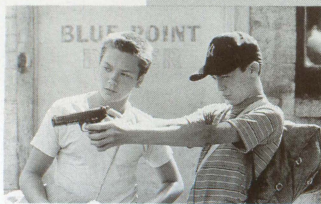


「ジミー再来!」
リバー・フェニックスにご注目を。

主役の4人はいづれも無名の少年たちながら、演技では心憎いまでにナチュラルな雰囲気を出している。その4人の中で、全米で話題もちきりなのがリバー・フェニックス。子供離れした存在感とちょっと陰りのあるマスク。「第2のジェームズ・ディーン」と騒がれるのも無理がない。監督は「シユア・シング」のロブ・ライナー。原作は全米小説界の帝王スティーブン・キングが幼い日の端々しい思い出を綴った短篇だ。

■心にしみる同名主題歌「スタンド・バイ・ミー」■

映画の興行的、作品的な成功に刺激されてテーマ曲も86年暮に全米トップ10入り。最近モーリス・ホワイトのカバーでも知られるこの名曲は、「本家」ベン・E・キングの熱唱で、18年ぶりのリバイバル・ヒット。日本でもチャートを急上昇。感動をさらに熱く盛り上げている。



4月18日(土)感動のロードショー

特別鑑賞券発売中/一般1,200円・学生1,100円(当日一般1,500円・学生1,300円の処)

国電有楽町・地下鉄銀座駅下車・マリオン9F

丸の内ピカデリー2 (201) 2881

日・祝 9:30 平日 11:10 1:00 2:50 4:50 6:40